

（株）フル里農産加工 代表取締役社長 岡田 浩史さんのプロフィール

「100年後にも必要とされる会社として存続していること」そして「100年後の長野の農業をヘーゼルナッツで変える」を社是に据えて、奥さんと二人三脚で岡田さんは起業しました。

岡田さんが日本初の「国産化」と「6次産業化」を目指してヘーゼルナッツの試験栽培を始めたのは2013年のこと。前職時代に『6次産業化プランナー』として活動していた経験もある岡田さんが冬のイタリア・ピエモンテ州に訪れた際に山あいで雪の中、すくすくと育つヘーゼルナッツを見て「気候や風土が似ている長野でもヘーゼルナッツを栽培出来るかもしれない」と衝撃を受けたのです。さっそく農家の皆さんに次世代の農産物になるとアドバイスしましたが、ヘーゼルナッツ自体知られておらず、誰も栽培希望者がいませんでした。

岡田さんは農業経験が一度もありませんでしたが、役員をしていた商社を早期退職し、ヘーゼルナッツの栽培を自らチャレンジすることとしたのです。

ヘーゼルナッツは、お菓子などの加工品として付加価値を付けて販売することができるので、6次産業化にピッタリとのこと。「ヘーゼルナッツの国産化と6次産業化」を目指し、2023年には日本唯一の『ヘーゼルナッツ学校』を創設し、栽培、加工、販売すべてを伝えながらヘーゼルナッツを長野の新たな観光資源にしようと日々奮闘しています。

